

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

本号の主な内容

- 2面 【学会の目・眼・芽】「造園大百科事典」の刊行とご一読のすめ
（※）日本造園学会理事 長崎大学総合生産科学域教授 渡辺 貴史
【特集】2023年度創設予定の資格制度 緑地樹木剪定士
- 3面 令和4、5年度 日造協 各委員会・部会紹介「技術委員会」「造園領域発展戦略委員会」
- 4面 【ふるさと自慢】「落語発祥の地」安楽庵策伝上人と7つの寺
岐阜県支部 日比 真一（昭和造園土木株）
【緑 滴】アナザースカイを探しに行こう！
千葉県支部 土屋 絵里（株新松戸造園）

日造協会の方々への「日造協ニュース」は偶数月がPDF版の配信で、印刷物の発送は行っていません。会員の方々のメールニュースへの添付、日造協ホームページに掲載をしていますので、ご活用ください。

お陰様で（一社）日本造園建設業協会は2021年11月に創立50周年を迎えました。

令和5年度 国交省都市局関係 概算要求 3,840 億円に

国土交通省の令和5年度予算概算要求は、国費総額6兆9,280億円（対前年度比1.18倍）となった。都市局関係では事業費3,840億円（1.25倍）、国費1,544億円（1.20倍）で、国営公園等が事業費451億円（1.12倍）、国費380億円（1.19倍）、市街地整備が事業費3,330億円（1.27倍）、国費1,127億円（1.20倍）となった。

令和5年度都市局概算要求の基本方針は、激甚化・頻発化する自然災害に的確に対応するための防災・減災を主流化した強靱なまちづくりと、都市の成長力を引き上げ、豊かで活力あるコンパクトな地域づくりを進めるため、地域生活拠点の充実やポストコロナの多様なライフスタイルを支える持続可能な多極連携型のまちづくり、グリーンインフラの社会実装などに取り組むこととし、主要事項として6項目を掲げた。ここでは造園に深く関わる事項を紹介します。

防災・減災まちづくりの更なる推進

盛土による災害など「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に推進。防災・減災を主流化したコンパクトシティ、災害リスクの高いエリアからの移転の促進等、盛土による災害の防止、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の着実な推進を図る。特に、加速化対策では、防災公園の機能確保、都市公園の老朽化対策、グリーンインフラを活用した防災・減災のため、雨水貯留浸透機能を有する雨庭整備などに取り組む。

多様なライフスタイルを支える持続可能な多極連携型まちづくり

ポストコロナの多様な暮らし方・働き方を支える人間中心のコンパクトなまちづくりの実現に向けて、都心拠点（中心市街地）の充実だけでなく、日常生活を営む身近なエリア（ネイバーフッド）にも必要な機能が確保された地域生活拠

点を形成するとともに、都心拠点と地域生活拠点を結ぶ都市の骨格となる公共交通（ネットワーク）の確保を図る。これらを郊外住宅地や周辺集落を含む都市圏全体で取り組むことにより、人々のWell-beingを高めつつ、持続可能な多極連携型の都市構造の実現を目指す。

具体の施策としては、①日常生活を支える地域生活拠点の形成として、官民連携による身近な公園の質の向上や憩いの場となるオープンスペース、ウォークアブル空間の創出、コミュニティ拠点や就業拠点等を充実させるほか、②骨格となる公共交通の確保、③都市圏全体での実効性のあるコンパクト化の推進を図り、持続可能な都市構造の実現、人々のWell-beingの向上を目指す。

まちづくりのグリーン化の推進

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、脱炭素に資する都市・地域づくりを推進していくため、都市のコンパクト・プラス・ネットワークの推進やウォークアブルな空間づくり等とあわせて、グリーンインフラの社会実装、環境に配慮した民間都市開発等のまちづくりのグリーン化の取組を総合的、重点的に支援。特に都市における緑とオープンスペースの展開では、屋上緑化や樹林主体の都市公園など、CO₂吸収源となるグリーンインフラの社会実装の推進、官民連携による公園の整備・管理運営を行う。

都市開発の海外展開・国際園芸博覧会及び首里城復元に向けた取組

グリーンインフラを活用した防災・減災

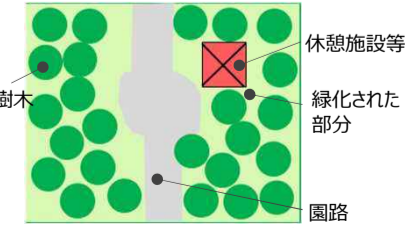
雨水の貯留浸透機能等の高いグリーンインフラの創出・保全等災害の低減に資する取組を支援する。

【KPI】全国の主要都市（30都市を想定）における防災・減災に資するグリーンインフラの取組み実施率

- 現状：10% ⇒ 令和7年度達成目標：90%
- 5か年加速化対策による達成年次の前倒し
令和11年度 ⇒ 令和8年度



CO₂吸収源となる都市公園整備の推進





緑化率80%かつその過半が樹木
樹木等のCO₂吸収・排出抑制効果を活かし、CO₂吸収効果の高い樹木主体の都市公園の整備を推進する

防災公園の機能確保

多様な災害に対応した防災公園の整備により、災害発生時の避難地、防災拠点としての機能を確保する。

【KPI】機能を十分発揮させるために整備が必要な防災公園（約160箇所程度）の対策実施率

- 現状：- ⇒ 令和7年度達成目標：80%
- 5か年加速化対策による達成年次の前倒し
令和13年度 ⇒ 令和9年度





都市公園の老朽化対策

都市公園においてインフラ長寿命化計画に基づく老朽化対策を進め、予防保全型管理への移行を図る。

【KPI】インフラ長寿命化計画を策定済みの都市公園（約66,000公園）のうち、緊急度の高い老朽化した公園施設の改修等の対策を実施できている都市公園の割合

- 現状：31% ⇒ 令和7年度達成目標：80%
- 5か年加速化対策による達成年次の前倒し
令和12年度 ⇒ 令和9年度



老朽化した園路の改修イメージ

樹林

（一社）日本造園建設業協会理事
（株）新潟造園土木 代表取締役社長 近 陽一郎



まちに風格を与えてくれる街路樹を

近年街路樹を見ていると思うことがあります。せっかく植栽された樹木が生育不良だったり、本来の姿では無いためにその機能を発揮できていないと感じられるものが多々見受けられるのはどうしてなのかという疑問がありました。（素晴らしい街路樹もたくさんありますが…）

本来街路樹の機能には景観形成として、無機質な街並みに潤いと安らぎを与え、街に統一感をもたせ、季節の変化を感じさせることができます。

また環境面においては、夏の強い日差しから歩行者を守り、緑陰効果や葉の蒸散作用により周囲の気温上昇を抑えることでヒートアイランド現象の緩和に役立ちます。

それにCO₂の吸収により地球温暖化防止にも役立ち、車の騒音緩和にもつながります。防災面においては火災時の延焼防止、通行車両に対する視線誘導等様々なメリットがあります。

私が住んでいる新潟県内を見てもそうですが、県外に行っても街路樹がその機能を十分に発揮できていないと思われる状態をよく見かけます。ではなぜこういうことになっているのか私なりに考えてみました。

その要因としては2つ考えられると思います。1つ目は植栽環境による問題と、2つ目はその後の維持管理に問題はあるのではないかと思います。

最初に植栽環境の問題ですが、いくら街路樹に適した樹種であってもわずか1㎡位の限られた植樹枠の中では植栽時の若木の内なら成長できますが、その後何年か経ち根が伸びるスペースがなければ成長もできないし、逆に衰

退していくばかりです。（勿論植栽基盤の問題もありますが…）本来環境負荷に強い樹種であっても常時強風に晒されるような場所では成長も望めません。

次に維持管理に関する問題ですが、適切な管理がなされていないことが多々見られます。いくつか例を挙げてみると、樹形を無視したぶつ切り剪定や基本的な剪定技法から逸脱した剪定、周囲の施設（道路標識、建物の看板、電線等）の都合により樹形を無視した剪定、その他通常の維持管理では解決できない根上がりによる植樹枠や舗装の破損等、交通安全上の問題もあります。

ではこれらの問題を解決するにはどうすれば良いかということですが、植栽環境や維持管理に関する問題もすべて我々造園業者が関わって来たことです。私も若いころは設計書通りに植栽すれば樹木は普通に育つと思っていましたが、そうではないと気付くには何年も経ってからでした。

やはり植栽するにあたり本当にその樹木がそこで育つことができるのか、また成長したときにそのスペースはあるかなど事前に検討すべきことはたくさんあると思います。樹木は自分で場所を選ぶことはできません。生かすも殺すも我々の手にかかっています。

最近大きく立派に育った街路樹が住民からの苦情で伐採されるケースが目立ちます。適切に管理された街路樹は見た目の素晴らしさは勿論ですが、街に風格を与えてくれます。そんな街路樹がたくさん増えればいいなと願っております。

都市開発分野における我が国企業の海外展開を促進するため、川上から川下まで官民一体となった取組を強化し、プロジェクト受注の拡大を図るほか、2027年に神奈川県横浜市で開催する最上位のクラス（A1）の国際園芸博覧会について、開催に向けた準備を着実に進め、令和元年10月の火災により焼失した首里城について、本体工事を推進し、令和8年の正殿の復元に向けた取組を進める。

全国労働衛生週間

本週間 10/1～10/7 準備期間 9/1～9/30

10月1日～7日を本週間、9月1日～30日を準備期間に「全国労働衛生週間」が実施されます。

今年のスローガンは、「あなたの健康があつてこそ 笑顔があふれる健康職場」となっています。



日造協では、安全衛生意識高揚のため、ポスターを支部宛に配布しております。労働衛生の推進にご活用ください。

2023 年度創設予定の資格制度

商標登録出願中

特集

緑地樹木剪定士

国土交通省の取り組む「インフラ長寿命化計画」や美しいみどり環境の実現等の社会的要請に応えるため、公園・緑地に植栽される樹木を適切に管理でき、利用者への安全配慮ができる技術者が必要となっています。日造協では「街路樹剪定士」と「植栽基盤診断士」の資格制度を創設し、専門的な知識と技能・技術を併せ持ったプロフェッショナルの育成に努めてきました。今号では、新たに設立する予定の「緑地樹木剪定士」の概要について紹介します。

「緑地樹木剪定士」設立の背景と意義

都市公園等の緑地において、樹木の老朽化や不適切な管理により、枯枝の落下、枯損木による倒木の発生により利用者への危害や公園施設に破損が及ぶことが危惧されるなど公園や緑地の管理上の新たな課題が顕在化しており、樹木の良好な育成や安全対策の実施を通じて、公園や緑地の機能の的確な保全・確保・向上が求められています。

街路樹剪定士の持つ知識と技術に加え、公園や緑地の樹木に関する基礎的な知識を有し、樹木の剪定整姿などの適切な育成管理や日常の安全点検をすることのできる技術者を養成するため、すでに

街路樹を対象に剪定・管理している「街路樹剪定士」をベースに、新たに「緑地樹木剪定士」資格制度を 2023 年 4 月に設立することとしました。

この資格制度の意義は、公園や緑地の管理者とその利用者の間に立って、公共的緑地空間に植栽された多様な樹木を対象に、緑地の利用者が快適に安全に利用できる造園空間を提供するとともに、緑地の管理者へ提案できる技術者を養成することです。

これまで公園や緑地における樹木を管理される担当者からも、発注の際に活用できる資格制度はないかとの問い合わせもあり、それに対応すべく街路樹剪定士



図1 緑地樹木剪定士 制度概念図

【造園用フルハーネス型墜落制止用器具の販売】

★日造協では、技術委員会安全部会を中心に労働安全衛生規則の改正に伴い造園作業に適したフルハーネス型墜落制止用器具を開発などを進めてきました。

この度、日造協安全部会の群馬庚申園様から「造園用フルハーネス型墜落制止用器具」を会員の皆様へ特別価格で提供とのご案内がありました。

ご希望の方は URL (<http://shop.kousinen.com/>) よりお申し込みください。

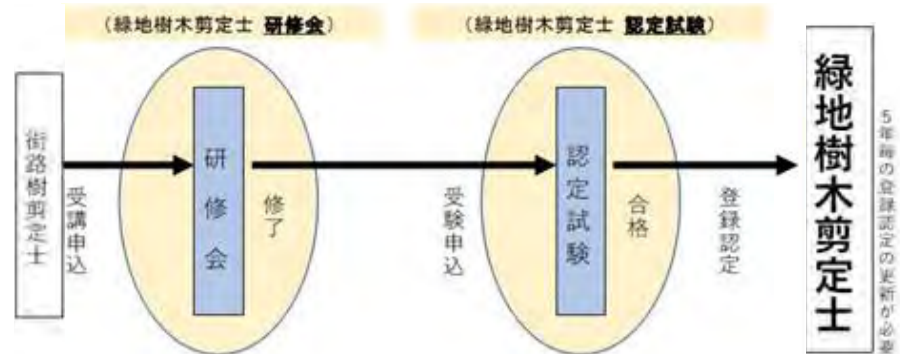


図2 受講・受験要件と資格取得フロー

の資格活用が道路分野に限定されることなく、公共的緑地樹木までを対象に拡大することとなりました。

「緑地樹木剪定士」の対象領域と能力

対象とする領域は、個人庭などの私的空間ではなく、街路を除く誰もが利用できる公園や緑地・オープンスペースなどの公共的空間で、有資格者は街路樹剪定士の能力や知識に加えて、公共的空間の樹木を適切に管理できる知識と能力を有していることとしています。(図1)

受講・受験要件と資格取得フロー

「緑地樹木剪定士研修会」の受講要件は街路樹剪定士であり、研修会修了者は「緑地樹木剪定士認定試験」を受験することができます。

試験合格後に登録認定を行うことにより資格者になることができます。また登録認定には5年毎の更新を義務付けていますが、街路樹剪定士の更新手続きと

合わせることを予定しています。(図2)

研修会と試験の概要

剪定技術の実技は街路樹剪定士研修会および認定試験において修得確認ができていますため、緑地樹木剪定士は学科の研修と試験のみ実施します。

また、学科研修はWEBを活用し、別表1の240分の研修を実施します。

試験については、択一式により学科研修内容の修得確認をします。

2022 年度の特例措置

制度設立前に、日造協会員の街路樹剪定士を対象に、特例措置として特例研修会を8月と来年1月に実施します。特例研修会を受講された方は、制度設立後に登録認定することにより資格者となることができます。

8月の開催については、500名以上の方に受講いただきました。今回受講できなかった方は、来年1月にも実施する特例研修会をぜひ受講ください。

今後の予定

今後は制度要綱の制定や認定委員会を設置し、2023年4月から制度運営が始まります。研修会・試験の開催日程や登録認定手続きについては、決まり次第ホームページ等でご案内予定です。

公園や緑地の樹木を管理されている多くの方に、この資格制度をご活用いただけるよう周知してまいります。

「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」

この機会にぜひご購入を

好評発売中

公園や緑地の樹木の維持管理技術者育成や剪定に関わる用語定義の必要性に鑑み「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」としてとりまとめ発刊しています。公園・緑地樹木の管理に携わる方は、ぜひご活用ください。本書は日造協ホームページから購入できます。🔗 <https://jalc.or.jp/publish/index.html>

公園・緑地樹木剪定ハンドブック



良好な緑地空間の景観形成の実現に向けて

学会の目・眼・芽 第127回

「造園大百科事典」の刊行とご一読のすすめ

(公社)日本造園学会監事 長崎大学総合生産科学域(環境科学系)教授 渡辺 貴史

筆者も執筆に関わった「造園大百科事典」が、2022年7月に、朝倉書店から刊行されました。総ページ数が708ページにわたる同書には、造園に関する科学的・技術的な知識を説明するために設定された278項目が掲載されています。執筆には、159名の学術、官公庁、業界関係者が携わっています。

同事典の刊行の目的は、序において総編集者である亀山章先生(東京農工大学名誉教授)が述べられる通り、造園分野の共有するテーマに対する学術と技術の全体像を体系的に示すことです。造園分野の共有するテーマとは、豊かな自然環境と美しい景観をもつ持続的な国土を形成し、快適で健全な生活環境を保全・創出することです。これは、本誌本年1月号の創立50周年

記念座談会のキーワードの一つといえる造園分野の“大義”に相当するといえるでしょう。

類書としては、田畑貞寿・樋渡達也編「造園の事典」(朝倉書店、1995)等があります。しかし類書刊行以降の造園分野は、環境志向の高まりや歴史的に形成された景観・史跡等の文化財の保護を重視する社会のニーズの変化により、飛躍的に拡大しました。飛躍的に拡大した全体像を体系的に示すことは、造園分野が“大義”に応えるためにも、重要といえます。

刊行にあたっては、編集委員会による掲載する項目と執筆者の検討が行われ、執筆者に対する依頼がなされました。筆者が編集委員から執筆依頼を

頂いたのは、メール受信日によれば、2012年7月です。最初の依頼から刊行に至るまでには、約10年かかっています。ちなみに筆者が担当した項目は、最初の原稿提出後に新しい動きが出てきたため、刊行前に改訂をしました。事典の刊行は、通常の本と比べて、構想・執筆・編集作業に、多くの時間を要するものといえます。

本書の項目は、原論／歴史／風景・景観計画／都市・地域計画／公園緑地計画／生きものと生態系の保全／自然環境の再生と植生管理／植栽デザイン／緑地機能／造園空間の整備／行政計画・制度／調査・実験・分析手法／の12章に分けられています。各項目では、ある用語の意味のみを説明する辞典とは異なり、項目とそれに関連する他の項目も説明することで、項目に関わる事柄を体系的に理解できるようになっています。

筆者が調べた限りでは、既に所蔵す



「造園大百科事典」の表紙と朝倉書店の掲載ページQRコード①



「造園大百科事典」は日造協会員に12月末までの限定で10%割引していただけることになりました。割引販売の特設ページ(<https://pro.form-mailer.jp/lp/6824f763258183>)または①のQRコードをご利用ください。

る公共図書館があるようです。また朝倉書店のサイトでは、一部の項目の試し読みができます。ご関心を持たれた方におかれては、お目通しを頂けると幸いです。

令和4、5年度

日造協 各委員会・部会紹介

令和4、5年度の日造協 各委員会・部会を8月号（581号）より数回に分けてご紹介します。表の◎委員長・部会長、○副委員長、※理事

技術委員会

委員長 伊藤 幸男



技術委員会は、造園技術・技能の研究開発と標準化、技術情報の共有化、安全管理、造園新技術の情報収集、日本造園学会など他団体との技術技能の向上に向けての活動など、多岐にわたった活動を行っています。昨今は、CCUS など新たな制度への対応や、高所作業に関する安全面の課題など、多くの会員の方の関心の高い

課題にも取り組んでいます。これらの大きな課題を含め、引き続き様々な視点から会員各社のご意見を集約し取り組んでまいりたいと考えております。皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

技術委員会

氏名	所属	支部
◎伊藤 幸男	(株)日比谷アメニス	東京
○石出 慎一郎	東洋緑化(株)	宮城
○金城 健太郎	金城グリーン(株)	沖縄
○佐藤 英介	(株)石勝エクステリア	東京

氏名	所属	支部
○大場 淳一	(株)大場造園	東京
○坂元 博明	(株)柳島寿々喜園	東京
○荻野 淳司	アゴラ造園(株)	東京
※近 陽一郎	(株)新潟造園土木	新潟
吉田 巧	(株)横山造園	北海道
増田 博一	(株)増田造園	栃木
松原 大介	(株)松原造園	石川
水谷 春海	(株)水谷造園	三重
的場 盛州	(株)松風園	和歌山
梶岡 美生	(株)カジオカL・A	広島

氏名	所属	支部
藤田 秀樹	(株)藤田萬翠園	香川
古賀 正	古賀緑地建設(株)	福岡

技術企画部会

氏名	所属	支部
◎伊藤 幸男	(株)日比谷アメニス	東京
佐藤 英介	(株)石勝エクステリア	東京
大場 淳一	(株)大場造園	東京
坂元 博明	(株)柳島寿々喜園	東京
荻野 淳司	アゴラ造園(株)	東京

技術・技能・調査部会

部会長 佐藤 英介



会員の技術・技能向上を目的に“造園工事の代表的な工種について善し悪しの判断をできる眼を培う”ための若

手を対象にした人材育成研修（Web）を実施しています。新たに造園工事に追加された「緑地育成工事」については、公園緑地工事積算体系に関わる日造協の意見をとりまとめ、引き続き国土交通省へ具申致します。また、国土交通省が社会実装を推進するグリーンインフラに関する情報を会員の皆様へ発信してまいります。

技術・技能・調査部会

氏名	所属	支部
◎佐藤 英介	(株)石勝エクステリア	東京
渡邊 章	(株)八廣園	埼玉
角幡 大亮	(株)富士植木	東京
村岡 賢二	西武造園(株)	東京

氏名	所属	支部
吉村 知泰	(株)吉村造園	東京
中村 秀樹	内山緑地建設(株)東京支店	東京
山田 裕之	(株)ワールドグリーンメンテナンス	神奈川
石井 匡志	アゴラ造園(株)	東京

造園技術フォーラム部会

部会長 大場 淳一



「技術フォーラム」は、会員各社の施工分野で工夫し、高めてきた技術、ノウハウを共有するために全国持ち回りで開

催してきました。2022年4月に3年ぶりに熊本で開催されたフォーラムではコロナ過でも対応できるようにと地元の方々、スタッフの努力によりハイブリッドでの開催とし、多くの方々がリモートにて参加され大変好評をいただきました。今後の開催でもこの経験を活かし会員相互の技術交流に努めていきたいと思ひます。多くの会員のご参加をお待ちいたしております。

造園技術フォーラム部会

氏名	所属	支部
◎大場 淳一	(株)大場造園	東京
四宮 繁	(株)四宮造園	北海道
尾形 伸也	(有)ミドリ企画	宮城
河野 友和	東武緑地(株)	東京

氏名	所属	支部
石川 正典	(株)植藤	神奈川
増田 寿	(株)芸北造園土木	広島
米岡 伸一郎	(株)東武園緑化	熊本

技能五輪等部会

部会長 坂元 博明



本年の「造園」の技能五輪全国大会は、都立木場公園「多目的広場」を会場に、11月5日・6日

の2日間で開催されます。2級以上の技能を有する23歳以下の若者が、10時間で作庭して、出来栄を競うものです。会場内へは関係者しか入場できませんが、競技の様子はオンラインで配信されますので是非ご覧ください。引き続き日本造園組合連合会と協同し、造園技術者の育成及び技能レベルの向上に取り組んでまいります。

技能五輪等部会

氏名	所属	支部
◎坂元 博明	(株)柳島寿々喜園	東京
卯之原 昇	(株)昭和造園	東京
西村 剛彦	西村造園土木(株)	東京

氏名	所属	支部
榊原 亘	(株)豊橋園芸ガーデン	愛知
奈須 正典	(株)奈須造園	大阪
葉名 康弘	(株)エネルギーL&Bパートナーズ	広島

安全部会

部会長 荻野 淳司



安全衛生管理は、現場において命を守る重要な仕事です。事故・災害防止に加え、今日

的課題として、新型コロナウイルスの予防や感染者の対応も事業者の責任として欠かせません。部会では、法律改正など安全に関する最新情報を発信します。また、前期に引き続き高所作業におけるマニュアルの構築に努めます。

安全部会

氏名	所属	支部
◎荻野 淳司	アゴラ造園(株)	東京
山口 雄資	群馬庚申園(株)	群馬
矢野 孝紀	日産緑化(株)	東京

氏名	所属	支部
高田 和己	東武緑地(株)	東京
柳田 英樹	(株)日比谷アメニス	東京
内田 卓弘	(株)内田造園	神奈川

造園領域発展戦略委員会

委員長 田丸 敬三



今期も継続事項として①働き方改革の推進②担い手の育成・確保・女性活躍の推進③造園力の発揮機会の拡大を重点項目として取り組んでまいります。また、未だ収束が見えない新型コロナウイルス禍の中「新しい生活様式」で求められる働き方なども踏まえ、日造協も創立50周

年を超え、多様化する課題に新たな視点から、各委員会・部会、総支部・支部の方との意見も取り入れ、連携して取り組んでいきたいと思ひます。

造園領域発展戦略委員会

氏名	所属	支部
◎田丸 敬三	東光園緑化(株)	東京
○久郷 慎治	(株)久郷一樹園	富山
○持田 正樹	(株)もちだ園芸	鳥根
○藤巻 慎司	藤造園建設(株)	神奈川

氏名	所属	支部
○水庭 博	(株)水庭農園	茨城
○酒井 一江	(株)淡窓庵	顧問
○四宮 繁	(株)四宮造園	北海道
※中嶋 和敏	(株)中嶋造園土木	愛知
渡部 敦	庄内園芸緑化(株)	山形
田口 正典	(株)田口園芸	神奈川
川瀬 勝之	(株)植倉造園	岐阜
入谷 芳郎	入谷緑化土木(株)	兵庫
山本 正聡	(株)山本造園土木	愛媛
久保 和則	(株)葉隠緑化建設	佐賀

氏名	所属	支部
下地 浩之	(有)西原農園	沖縄
須磨 佳津江		顧問
涌井 史郎	東京都市大学	顧問

戦略企画部会

氏名	所属	支部
◎四宮 繁	(株)四宮造園	北海道
田丸 敬三	東光園緑化(株)	東京
藤巻 慎司	藤造園建設(株)	神奈川
酒井 一江	(株)淡窓庵	顧問
水庭 博	(株)水庭農園	茨城

戦略立案部会

部会長 藤巻 慎司



当部会では造園建設業界の将来構想をはじめ、会員の皆様からご提案いただいたプロ

ジェクトの企画・立案に取り組んで参ります。また、日造協創立50周年記念事業の一つとして、日造協のPRを目的とした造園建設業の紹介映像の制作にも取り組んで参りますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

戦略立案部会

氏名	所属	支部
◎藤巻 慎司	藤造園建設(株)	神奈川
田丸 敬三	東光園緑化(株)	東京
渡部 敦	庄内園芸緑化(株)	山形
田口 正典	(株)田口園芸	神奈川

氏名	所属	支部
横田 純	西武造園(株)	東京
西尾 倫顕	(株)越路ガーデン	富山
入谷 芳郎	入谷緑化土木(株)	兵庫
木上 善貴	木上梅香園(株)	熊本
下地 浩之	(有)西原農園	沖縄

担い手育成・確保推進部会

部会長 水庭 博



①担い手育成・確保行動計画の推進
②働き方改革の企画・立案・

推進
③資格試験・研修会・講演会開催情報の共有化推進部会に関連する日造協の年間スケジュールを調整・周知します。

担い手育成・確保推進部会

氏名	所属	支部
◎水庭 博	(株)水庭農園	茨城
卯之原 昇	(株)昭和造園	東京
大嶋 聡	西武造園(株)	東京

氏名	所属	支部
山田 通明	(株)山梅	群馬
森川 昌紀	東洋ランテック(株)	埼玉
大場 淳一	(株)大場造園	東京
酒井 一江	(株)淡窓庵	顧問

女性活躍推進部会

部会長 酒井 一江



部会作成の4冊の冊子は、会員のみなさん、業界の皆様、造園を学ぶ皆様にお役立てい

ただけるよう、出前講座等を全員参加で推進します。リモート出前も好評ですので、全国の総支部や、緑化フェア開催地、就活支援など、業界の認知度アップの場づくりに出前講座をご活用ください。

女性活躍推進部会

氏名	所属	支部	氏名	所属	支部
◎酒井 一江	(株)淡窓庵	顧問	松戸 幸子	(株)新松戸造園	千葉
中峰 勝美	(株)岩本石庭	北海道	桑園 亜希子	東光園緑化(株)	顧問
小松 恭子	東洋緑化(株)	宮城	中川 京子	(株)富士植木	東京
山口 聖子	群馬庚申園(株)	群馬	藤本 加奈子	箱根植木(株)	東京
阪上 恵保巳	(株)清香園	埼玉	高橋 優子	グリーン産業(株)	新潟
			薄井 美弥	(有)ウス井樹園	三重

会員拡大プロジェクト推進部会

部会長 四宮 繁



会員拡大プロジェクト推進部会は、企画・立案・推進を行いながら、協会の魅力を発

信し、これからも、入会促進につながる活動をしてまいります。また、ご要望がございましたら、WEBでの「入会説明会」も行ってまいりますので、引き続き、会員拡大へのご協力、宜しく願いいたします。

会員拡大プロジェクト推進部会

氏名	所属	支部
◎四宮 繁	(株)四宮造園	北海道
山口 英勝	(株)ヤマカツ	青森
遠藤 征矢	東光ローンコンサルタント(株)	埼玉
松戸 克浩	(株)新松戸造園	千葉

氏名	所属	支部
藤巻 慎司	藤造園建設(株)	神奈川
岩間 紀久裕	岩間造園(株)	愛知
持田 正樹	(株)もちだ園芸	鳥根
古家 敏弘	(株)山地宝松園	香川
久保 和則	(株)葉隠緑化建設	佐賀



高い旋回能力で
障害物周辺も楽々走行



ライダー
R216T AWD (四輪駆動)

コンビデッキ別売り
フロント装備カッティングデッキ
標準価格
669,900円 (税込)



コンビデッキ94
86,900円 (税込)
■刈幅：940mm
コンビデッキ103
97,900円 (税込)
■刈幅：1030mm

独自ステアリング技術で
障害物の際まで刈込める



ガーデントラクター
TC242TX

集草ボックス標準装備
標準価格
699,600円 (税込)

豊富なアタッチメントで、様々な造園作業に使用可能!



お問い合わせは
お近くの販売店まで!

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

〒350-1165 埼玉県越市南台1-9

TEL 0570-550-933

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日除く)

☒ info.hv@husqvarna.jp

ハスクバーナHP

www.husqvarna.com/jp/

ゼノアHP

www.zenoah.com/jp/

ハスクバーナWEB
サイトはこちらから!



